

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-155	高等学校	外国語	英語表現 II	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	英 II・321	Departure English Expression II Revised		

1. 編修上の趣旨及び留意点

教育基本法、学校教育法並びに学習指導要領に則って、外国語を学ぶことを通じて、自律した個人として我が国社会の形成・発展に貢献できるとともに、国際社会の平和と発展に寄与できる人材を養うための教科書を目指しました。

2. 編修の基本方針

- ◎将来グローバル社会で活躍できる生徒育成を目指し、身近なところからグローバルイシューまで、**現代的なテーマの題材**を積極的に取り上げる。
- ◎我が国の伝統と文化を再認識し、さらにそれを世界に向けて発信できるようにする。
- ◎英語によるコミュニケーションが積極的に図れる態度を育成し、情報のやり取りが的確にできる能力を身につけさせる。
- ◎**4技能をバランスよく統合した活動**を工夫する。
- ◎国際化時代を考慮し、様々な角度から異なった文化を紹介し、異文化理解教育に役立てる。
- ◎写真やイラスト等を適切に使い、学びやすさへ配慮する。

3. 対照表

図書の構成・内容	特留意を用いた点や特色	該当箇所
Part 1		
Lesson 1 A Healthy Life	健康について考えることにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 10-11
Lesson 2 Sports Are Fun	スポーツについて自分の感想を交えながら紹介をする活動に取り組むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 12-13
Lesson 3 My Friends	友人との出会いや関係を考えることにより、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp.14-15
Lesson 4 A Love of Music	音楽について自分の感想を交えながら紹介をする活動に取り組むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp.16-17
Lesson 5 My Club's Goal	生徒にとって身近な「部活動」をテーマに取り上げることにより、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp. 18-19
Lesson 6 Study Advice	勉強法について考えることにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 20-21
Lesson 7 Mobile Devices	様々なコミュニケーション手段について考え、その適切な使い方を議論することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 22-23
Lesson 8 The Clothes I Like to Wear	ファッションについて自分の感想を交えながら紹介をする活動に取り組むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 24-25
Lesson 9 World Travel	海外観光地の魅力やそこを訪れることについて考えることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第5号)	pp. 26-27
Lesson 10 Saying Thank You	多様な人間関係について考えることにより、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp. 28-29

Lesson 11 The News That Interests Me	情報を得る様々な手段の良いところや欠けているところについて考察することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 30-31
Lesson 12 Energy Saving and the Environment	地球環境保護のためにできることを考えることで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指しました。(第4号)	pp. 32-33
Lesson 13 If I Were ...	仮定の話について自分の感想を交えながら紹介をする活動に取り組むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp.34-35
Lesson 14 Books or Movies	本や映画について自分の感想を交えながら紹介をする活動に取り組むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp.36-37
Lesson 15 The Future of Technology	科学技術について調べたり考察したりすることによって、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指しました。(第4号)	pp. 38-39
Lesson 16 Let's Volunteer	ボランティアについて考察することにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 40-41
Lesson 17 A Good Life for Everyone	住みやすい社会について議論することにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 42-43
Lesson 18 Business and the World Economy	自国や他国の経済活動について考察することにより、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第5号)	pp. 44-45
Lesson19 My Future Career	自分の未来のことについて計画を立てたり、そのための準備について考えてみたりすることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 46-47
Lesson 20 The Person I Revere	自分の尊敬する人について、その人生や功績などを考察することにより、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指しました。(第2号)	pp. 48-49

Part 2		
Lesson 1 Computers Are Everywhere	コンピュータとその活用法について自分の感想を交えながら紹介をする活動に取り組むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 56-59
Lesson 2 Studying Abroad and Introducing Japan	留学の魅力やそこを訪れることについて考えることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第5号)	pp. 60-63
Lesson 3 Precious Encounters	さまざまな出会いや関係を考えることにより、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp.64-67
Lesson 4 What Is Your Favorite Book?	読書について自分の感想を交えながら紹介をする活動に取り組むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp.68-71
Lesson 5 Expressions Reflecting Japanese Ideas	日本語と英語の特徴の違いについて考えることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第5号)	pp. 72-75
Lesson 6 What Do Images Tell Us?	身近な「街の標識」をテーマに取り上げることにより、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp. 76-79
Lesson 7 Eating Habits for a Better Life	食生活について自分の感想を交えながら紹介をする活動に取り組むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 80-83
Lesson 8 The Need to Learn Foreign Languages	外国語学習について考え、その効用を議論することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 84-87

Lesson 9 Are You Old Enough to Vote or Run for Office?	選挙制度について考えることにより、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp. 88-91
Lesson 10 Do We Live in a Considerate Society?	思いやりのある社会について考えることにより、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp. 92-95

Part 3		
Lesson 1 Learning Foreign Languages	外国語学習について自分の感想を交えながら意見を交換し合う活動に取り組むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 102-105
Lesson 2 Are Zoos Necessary?	動物園の存続の是非について考えることで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指しました。(第4号)	pp. 106-109
Lesson 3 Using Electronic Devices	電子機器について自分の感想を交えながら意見を交換し合う活動に取り組むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp.110-113

Part 4		
Lesson 1 Show & Tell	あなたが大切にしているものについて自分の感想を交えながら紹介をする活動に取り組むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 118-121
Lesson 2 Speech	さまざまな出会いや関係を考えることにより、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp. 122-125
Lesson 3 Presentation	環境問題について考えることで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指しました。(第4号)	pp.126-129

Part 5		
Lesson 1 Mini-Debate in Teams of Four	4人制ディベート活動に取り組むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 136-139
Lesson 2 Debate	ディベート活動に取り組むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 140-147
Lesson 3 Panel Discussion	パネルディスカッション活動に取り組むことにより、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp.148-155

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-155	高等学校	外国語	英語表現II	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	英 II・321	Departure English Expression II Revised		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

◎将来グローバル社会で活躍できる生徒育成を目指して

- ・日本の伝統や文化、自然科学、環境問題、情報伝達手段、人口問題、平和など、自国の文化をふまえつつ、グローバル社会の一員として学ぶべき現代的なテーマの教材を積極的に取り入れました。
- ・聞いたり読んだりしたことを理解させるだけでなく、そのテーマについて「地球市民」として何ができるかということを考え自分の意見を英語で表現させる工夫をし、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、生徒の論理的思考力や自律的に学習する姿勢を伸長することを目指しました。

◎4技能を統合した活動の工夫

- ・各レッスンのテーマについて自分の考えをまとめる課題として、フレームや図表で要素をまとめ、それに基づいて英語で書いて表現する活動を設定しました。
(Get Ready to Write, Write on Your Own)
- ・本文の内容や関連したテーマについて、ペアやグループで話し合う活動を用意しました。(Challenge, Speak Up)
- ・各レッスンの内容をより深く知るため、関連したテーマについて聞いたり読んだりして理解したことを英語でまとめる活動を用意しました。(Listen and Think, Keynote Passage)
- ・文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、文法用語の使用は最小限に抑え、学んだ文法事項を実際に使ってみる活動を多く取り入れました。
(Structures, Functions, Practice)

◎学びやすさへの配慮

- ・課が進む毎に身近な話題からグローバルなテーマへと発展していく構成とし、生徒が無理なく学習を進められる構成としました。
- ・写真やイラストを多く配置し、視覚的な面からも内容理解が容易になるよう工夫しました。

■各レッスンの構成(Part 1・2)■

1. Warm-up—各課で扱うテーマについて、会話を聞いて取り組む活動を用意しました。
 2. Structures/Functions—各課で扱うテーマについて英語で表現するために必要な文法事項を例文とともに用意しました。
 3. Ways to Express It—日本語をヒントにして英文を作る活動。
 4. Practice—Structures/Functionsコーナーで習った文法事項を使って英文を作る活動を用意しました。
 5. Express Yourself-Challenge!—各課で扱うテーマについて、ペアと英語で語り合う活動を用意しました。
(以下Part 2)
 6. Listen and Think—英文を聞いて質問に答える言語活動を用意しました。
 7. Keynote Passage~Outlining—まとまった英文を読み、その内容を把握した上で、英文の構成を整理して表にする活動を用意しました。
 8. Get Ready to Write—英語で表現するために表を使って意見・考えをまとめる活動を用意しました。
 9. Write on Your Own—まとまった英文を書いて意見や考えを英語で表現する活動を用意しました。
 10. Let's Speak—各課で扱うテーマについて、ペアで英語で語り合う活動を用意しました。
- *Part 3~5は基本的に「ブレインストーミング」～「関連付け」～「構成」～「肉付け」～「エッセイ・ライティングなどの実践」の流れで活動を用意しました。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
見返し 表現のチェック	(1) イ (2) イ	(1) イ：見返し①、② (2) イ：見返し①、②	1

見返し裏 Japan's Best Short Letters Written by Teenagers	(1) イ	(1) イ：見返し③	1
Part 1 : Lesson 1 A Healthy Life ~ Lesson 20 The Person I Revere	<p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ア 与えられた条件について、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ウ 聞いたたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。 ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。 ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動のために必要な表現などを学習し、実際に活用すること。 エ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。</p> <p>第3款 1 [言語の使用場面の例] a 特有の表現がよく使われる場面 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面 c 多様な手段を通じて情報などを得る場面 [言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする/ b 気持ちを伝える/ c 情報を伝える/ d 考えや意図を伝える/ e 相手の行動を促す 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの/ウ 文法事項 不定詞の用法、関係代名詞の用法、関係副詞の用法、助動詞の用法、代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの、動詞の時制など、仮定法、分詞構文</p>	<p>(1) ア：Express Yourself (pp.11,13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31, 33, 35, 37, 39, 41, 43, 45, 47, 49) (1) イ：Practice (pp.11,13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31, 33, 35, 37, 39, 41, 43, 45, 47, 49) (1) ウ：Express Yourself (pp.11,13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31, 33, 35, 37, 39, 41, 43, 45, 47, 49) (1) エ：Express Yourself (pp.11,13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31, 33, 35, 37, 39, 41, 43, 45, 47, 49)</p> <p>(2) ア：Warm-up(pp.10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30, 32, 34, 36, 38, 40, 42, 44, 46, 48), Express Yourself (pp.11,13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31, 33, 35, 37, 39, 41, 43, 45, 47, 49) (2) ウ：Structures(pp.10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30, 32, 34, 36, 38, 40, 42, 44, 46, 48), Ways to Express It(pp.10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30, 32, 34, 36, 38, 40, 42, 44, 46, 48), Practice(pp.11,13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31, 33, 35, 37, 39, 41, 43, 45, 47, 49) (2) エ：Express Yourself (pp.11,13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31, 33, 35, 37, 39, 41, 43, 45, 47, 49)</p> <p>第3款 1：Warm-up(pp.10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30, 32, 34, 36, 38, 40, 42, 44, 46, 48), Structures(pp.10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30, 32, 34, 36, 38, 40, 42, 44, 46, 48), Ways to Express It(pp.10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30, 32, 34, 36, 38, 40, 42, 44, 46, 48), Practice (pp.11,13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31, 33, 35, 37, 39, 41, 43, 45, 47, 49) Express Yourself (pp.11,13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31, 33, 35, 37, 39, 41, 43, 45, 47, 49) 2：Structures(pp.10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30, 32, 34, 36, 38, 40, 42, 44, 46, 48), Ways to Express It(pp.10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30, 32, 34, 36, 38, 40, 42, 44, 46, 48), Practice (pp.11,13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31, 33, 35, 37, 39, 41, 43, 45, 47, 49)</p>	2 × 20 = 40
<コラム> 英語表現のテクニク	第3款 英語に関する各科目に共通する内容等 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの	第3款 2 イ：pp.50-51	1
Part 2 : Lesson 1 Computers Are Everywhere ~ Lesson 10 Do We Live in a Considerate Society?	<p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ア 与えられた条件について、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ウ 聞いたたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。 ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。 イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。 ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動のために必要な表現などを学習し、実際に活用すること。 エ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。</p> <p>第3款 1 [言語の使用場面の例] a 特有の表現がよく使われる場面 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面 c 多様な手段を通じて情報などを得る場面 [言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする/ b 気持ちを伝える/ c 情報を伝える/ d 考えや意図を伝える/ e 相手の行動を促す 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの/ウ 文法事項 不定詞の用法、関係代名詞の用法、関係副詞の用法、助動詞の用法、代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの、動詞の時制など、仮定法、分詞構文</p>	<p>(1) ア：Practice(pp.57, 61, 65, 69, 73, 77, 81, 85, 89, 93) (1) イ：Practice (pp.57, 61, 65, 69, 73, 77, 81, 85, 89, 93), Write on Your Own(pp.59, 63, 67, 71, 75, 79, 83, 87, 91, 95) (1) ウ：Practice(pp.57, 61, 65, 69, 73, 77, 81, 85, 89, 93), Let's Speak(pp.59, 63, 67, 71, 75, 79, 83, 87, 91, 95) (1) エ：Practice(pp.57, 61, 65, 69, 73, 77, 81, 85, 89, 93), Let's Speak(pp.59, 63, 67, 71, 75, 79, 83, 87, 91, 95)</p> <p>(2) ア：Warm-up(pp.56, 60, 64, 68, 72, 76, 80, 84, 88, 92), Listen and Think(pp. 58, 62, 66, 70, 74, 78, 82, 86, 90, 94), Let's Speak(pp.59, 63, 67, 71, 75, 79, 83, 87, 91, 95) (2) イ：Outlining(pp. 58, 62, 66, 70, 74, 78, 82, 86, 90, 94), Get Ready to Write(pp.59, 63, 67, 71, 75, 79, 83, 87, 91, 95), Write on Your Own(pp.59, 63, 67, 71, 75, 79, 83, 87, 91, 95) (2) ウ：Functions(pp. 56, 60, 64, 68, 72, 76, 80, 84, 88, 92), Ways to Express It(pp. 56, 60, 64, 68, 72, 76, 80, 84, 88, 92), Keynote Passage(pp. 58, 62, 66, 70, 74, 78, 82, 86, 90, 94), (2) エ：Practice(pp.57, 61, 65, 69, 73, 77, 81, 85, 89, 93), Let's Speak(pp.59, 63, 67, 71, 75, 79, 83, 87, 91, 95)</p> <p>第3款 1：Warm-up(pp.56, 60, 64, 68, 72, 76, 80, 84, 88, 92), Functions(pp.56, 60, 64, 68, 72, 76, 80, 84, 88, 92), Ways to Express It(pp. 56, 60, 64, 68, 72, 76, 80, 84, 88, 92), Practice (pp.57, 61, 65, 69, 73, 77, 81, 85, 89, 93), Listen and Think (pp.58, 62, 66, 70, 74, 78, 82, 86, 90,94), Keynote Passage(pp. 58, 62, 66, 70, 74, 78, 82, 86, 90,94), Outlining(pp. 58, 62, 66, 70, 74, 78, 82, 86, 90,94), Get Ready to Write(pp. 59, 63, 67, 71, 75, 79, 83, 87, 91, 95), Write on Your Own(pp. 59, 63, 67, 71, 75, 79, 83, 87, 91, 95), Let's Speak(pp. 59, 63, 67, 71, 75, 79, 83, 87, 91, 95) 2：Functions(pp.56, 60, 64, 68, 72, 76, 80, 84, 88, 92), Ways to Express It(pp. 56, 60, 64, 68, 72, 76, 80, 84, 88, 92), Practice (pp.57, 61, 65, 69, 73, 77, 81, 85, 89, 93)</p>	4 × 10 = 40
<コラム>	第3款 英語に関する各科目に共通する内容等	第3款	1

つなぎ言葉	ア (イ) 連語及び慣用表現のうち、運用度の高いもの	2 イ : 96-97	
Part 3: Lesson 1 Learning Foreign Languages ~ Lesson 3 Using Electronic Devices	<p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ア 与えられた条件について、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ウ 聞いたたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的にを行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。 イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。</p> <p>第3款 1 [言語の使用場面の例] a 特有の表現がよく使われる場面 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面 c 多様な手段を通じて情報などを得る場面 [言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする/ b 気持ちを伝える/ c 情報を伝える / d 考えや意図を伝える/ e 相手の行動を促す 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの/ウ 文法事項 不定詞の用法、関係代名詞の用法、関係副詞の用法、助動詞の用法、代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの、動詞の時制など、仮定法、分詞構文</p>	<p>(1) ア : プレインストーミング (pp.102, 106, 110) (1) イ : 構成 (pp. 104, 108,111), 肉付け(pp.104, 108, 112) (1) ウ : エッセイ・ライティング(pp.105, 109, 113) (2) イ : 関連付け(pp. 103, 107, 111), エッセイ・ライティング(pp.105, 109, 113), 推敲(pp. 105, 109, 113)</p> <p>第3款 1 : プレインストーミング (pp.102, 106, 110), 関連付け(pp. 103, 107, 111), 構成 (pp. 104, 108,111), 肉付け(pp.104, 108, 112), エッセイ・ライティング(pp.105, 109, 113), 推敲(pp. 105, 109, 113) 2 : プレインストーミング (pp.102, 106, 110), 関連付け(pp. 103, 107, 111), 構成 (pp. 104, 108,111), 肉付け(pp.104, 108, 112), エッセイ・ライティング(pp.105, 109, 113), 推敲(pp. 105, 109, 113)</p>	4 × 3 = 12
Part 4: Lesson 1 Show & Tell ~ Lesson 3 Presentation	<p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ア 与えられた条件について、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ウ 聞いたたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的にを行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。 ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。 イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。 ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動のために必要な表現などを学習し、実際に活用すること。 エ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。</p> <p>第3款 1 [言語の使用場面の例] a 特有の表現がよく使われる場面 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面 c 多様な手段を通じて情報などを得る場面 [言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする/ b 気持ちを伝える/ c 情報を伝える / d 考えや意図を伝える/ e 相手の行動を促す 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの/ウ 文法事項 不定詞の用法、関係代名詞の用法、関係副詞の用法、助動詞の用法、代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの、動詞の時制など、仮定法、分詞構文</p>	<p>(1) ア : プレインストーミング (pp.118, 122, 127), 発表(pp.121, 129) (1) イ : メッセージ決め(pp.123, 128), 構成 (pp. 119, 124, 128), 肉付け(pp.120, 124, 129) (1) ウ : エッセイ・ライティング(pp.120, 125, 129), 発表(pp.121, 129) (1) エ : 発表(pp.121, 129) (2) ア : 練習(pp. 121, 125, 129) (2) イ : 関連付け(pp. 119, 123, 128), 推敲(pp.120, 125, 129) (2) ウ : 発表(pp.121, 129) (2) エ : 発表(pp.121, 129)</p> <p>第3款 1 : プレインストーミング (pp.118, 122, 127), 関連付け(pp. 119, 123, 128), 構成 (pp. 119, 124,128), 肉付け(pp.120, 124, 129), エッセイ・ライティング(pp.120, 125, 129), 発表(pp.121, 129), 推敲(pp. 120, 125, 129) 2 : プレインストーミング (pp.118, 122, 127), 関連付け(pp. 119, 123, 128), 構成 (pp. 119, 124,128), 肉付け(pp.120, 124, 129), エッセイ・ライティング(pp.120, 125, 129), 発表(pp.121, 129), 推敲(pp. 120, 125, 129)</p>	6 × 3 = 18
Part 5 Lesson 1 Mini-Debate in Teams of Four	<p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ア 与えられた条件について、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ウ 聞いたたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的にを行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。 イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。 ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動のために必要な表現などを学習し、実際に活用すること。 エ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。</p>	<p>(1) ア : IV (p.139) (1) イ : I (p.137) (1) ウ : IV (p.139) (1) エ : IV (p.139) (2) イ : II (p. 138), III (p.139) (2) ウ : Mini-Debateのフォーマット(p.136) (2) エ : IV(p.139)</p>	6

	<p>第3款 1 [言語の使用場面の例]</p> <p>a 特有の表現がよく使われる場面</p> <p>b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面</p> <p>c 多様な手段を通じて情報などを得る場面</p> <p>[言語の働きの例]</p> <p>a コミュニケーションを円滑にする/ b 気持ちを伝える/ c 情報を伝える / d 考えや意図を伝える/ e 相手の行動を促す</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの/ ウ 文法事項 不定詞の用法、関係代名詞の用法、関係副詞の用法、助動詞の用法、代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの、動詞の時制など、仮定法、分詞構文</p>	<p>第3款</p> <p>1 : Mini-Debateのフォーマット(p.136), I (p.137), II (p. 138), III (p.139), IV(p.139)</p> <p>2 : Mini-Debateのフォーマット(p.136), I (p.137), II (p. 138), III (p.139), IV(p.139)</p>	
Part 5 Lesson 2 Debate	<p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p>ア 与えられた条件について、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。</p> <p>イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。</p> <p>ウ 聞いたたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。</p> <p>エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。</p> <p>ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動のために必要な表現などを学習し、実際に活用すること。</p> <p>エ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。</p> <p>第3款 1 [言語の使用場面の例]</p> <p>a 特有の表現がよく使われる場面</p> <p>b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面</p> <p>c 多様な手段を通じて情報などを得る場面</p> <p>[言語の働きの例]</p> <p>a コミュニケーションを円滑にする/ b 気持ちを伝える/ c 情報を伝える / d 考えや意図を伝える/ e 相手の行動を促す</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの/ ウ 文法事項 不定詞の用法、関係代名詞の用法、関係副詞の用法、助動詞の用法、代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの、動詞の時制など、仮定法、分詞構文</p>	<p>(1) ア : V (p.147)</p> <p>(1) イ : I (p.141)</p> <p>(1) ウ : V (p.147), VI (p.147)</p> <p>(1) エ : II (p.144), III (p.145)</p> <p>(2) イ : I (p. 141)</p> <p>(2) ウ : III (p.146), IV (p.146)</p> <p>(2) エ : V (p.147), VI (p.147)</p> <p>第3款</p> <p>1 : I (p.141), II (p. 144), III (p.145), IV (p.146), V (p.147), VI (p.147)</p> <p>2 : I (p.141), II (p. 144), III (p.145), IV (p.146), V (p.147), VI (p.147)</p>	8
Part 5: Lesson 3 Panel Discussion	<p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p>ア 与えられた条件について、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。</p> <p>イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。</p> <p>ウ 聞いたたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。</p> <p>エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。</p> <p>ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。</p> <p>ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動のために必要な表現などを学習し、実際に活用すること。</p> <p>エ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。</p> <p>第3款 1 [言語の使用場面の例]</p> <p>a 特有の表現がよく使われる場面</p> <p>b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面</p> <p>c 多様な手段を通じて情報などを得る場面</p> <p>[言語の働きの例]</p> <p>a コミュニケーションを円滑にする/ b 気持ちを伝える/ c 情報を伝える / d 考えや意図を伝える/ e 相手の行動を促す</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの/ ウ 文法事項 不定詞の用法、関係代名詞の用法、関係副詞の用法、助動詞の用法、代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの、動詞の時制など、仮定法、分詞構文</p>	<p>(1) ア : V (p.154), VI (p.155)</p> <p>(1) イ : I (p.149)</p> <p>(1) ウ : V (p.154), VI (p.155)</p> <p>(1) エ : II (p.153), III (p.153)</p> <p>(2) ア : IV (p.154)</p> <p>(2) イ : I (p.149)</p> <p>(2) ウ : II (p.153), III (p.153)</p> <p>(2) エ : V (p.154), VI (p.155)</p> <p>第3款</p> <p>1 : I (p.149), II (p. 153), III (p.153), IV (p.154), V (p.154), VI (p.155)</p> <p>2 : I (p.149), II (p. 153), III (p.153), IV (p.154), V (p.154), VI (p.155)</p>	8
見返し Punctuation 計	<p>(2) イ 書いた内容を読み返して推敲すること。</p>	<p>(2) イ : 見返し④, ⑤</p>	1
			137